

動物の動きから動物の気持ちを探ろう

日時：令和4年7月2日（土） 9：30～12：00

場所：千葉市動物公園 レクチャールーム

参加者：37名（科学部員含む）

講師：千葉市動物公園 Zoo アドバイザー中山侑先生 樽川先生 山本先生



動物の「気持ち」は、行動観察データを積み重ねて研究します

やりたいことができない時
やる事がなくて暇な時

「食事前」に行動が変化。この子はお腹減るとイライラするタイプかな？



フンボルトペンギンを徹底的に観察！

Zoo アドバイザー
中山先生

1分経った！

グルーブに分かれ、行動の様子を

アシカ達、さっきより
落ち着きないよね

こっちを見てる

1分ごとに30回、観察記録しました

暑いのかな？

こんな行動もとるんだ！

これは「寝てる」だね(笑)

くつろいでる

データを集計

樽川先生

山本先生

各班の記録を確認

【受講生の感想】

- 同じ動物を30分間ずっと見たことがなかったのでとても面白かったです。キリンが木かげで休んでいることが多かったです。また、となりのゾウはかなり動いていることが多くて暑いのに強いのかなと思いました。
- 自分たちで調べた結果をまとめ、表にし、色々なことと関連させることで、その動物がどのような気持ちなのか、何を目的にその行動をしているのかについて知れて、とても驚きました。
- レッサーパンダは寒い地域でくらしているのをはじめて知りました。また、レッサーパンダっていつも高いところにいる理由がわかりました。
- もともと動物が好きなので、今回の授業はすごく興味深かったです。今回習ったことは、普段の生活でも役に立つと思います。ペットを飼っている人たちに伝えたり、自分がペットを飼ったときに役立てたいと思います。
- それぞれ動物の特徴をよく理解するために必要な着眼点を養うことができて良かった。双眼鏡を活用してじっくりその様子を見てみると、表情の1つ1つまでよく分かって面白かった。
- 普段、動物園にくるときには今日のように1つ1つの動物をじっくり見ることがなかったので、最初はすぐあきちゃうかな…と思っていたのですが、実際に観察してみると様々な行動に疑問でできてあつという間でした。考えた疑問についても先生に質問することができとても良い機会でした。
- 動物の動きは様々あって、色々な感情のためにその動きをしていると思うと、もっと気になったので今度、部活でカナヘビやウーパールーパー、アカライモリにバッタの観察をしようと思いました。